

## Toyama

## 富山県

富山県厚生部健康課



## 富山県の概要

富山県は、南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置し、東は新潟県と長野県、南は岐阜県、西は石川県に隣接し、10市4町1村の計15市町村から構成されています。

3,000m級の山々が連なる立山連峰から水深1,000mを越える富山湾に至るまで、高低差4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形を有しており、美しく豊かな自然環境に恵まれ、四季の移り変わりが鮮明で、多種多様な動植物が見られます。

富山県のシンボルとして「チューリップ」(県花)、「ライチョウ」(県鳥)、「タテヤマスギ」(県木)、「ニホンカモシカ」(県獣)等が指定されています。

人口は1,034,670人(令和2年10月1日現在)で、県内には4つの二次医療圏があり、国指定の県がん診療連携拠点病院が1か所、地域がん診療連携拠点病院が5か所、県指定のがん診療地域連携拠点病院が4か所の10病院からなる、がん診療体制が整備されています。

## 富山県のがん登録事業

富山県では昭和54年以降、がんが死因の第1位となっており、令和元年は3,492人の方が、がんでなくなっています。

昭和62年から県が実施主体となり、県内におけるがん患者の罹患状況の実態を把握し、発生の疫学的要因を明らかにすることを目的として、公益社団法人富山県医師会をはじめ各医療機関の協力を得て「富山県地域がん登録」を開始しました。事業の運営については、登録票の集約業務を富山県医師会に、登録業務を財団法人富山県総合健康増進事業団(現公益財団法人富山県健康づくり財団)に委託して実施してきました。

平成28年からは、全国がん登録都道府県データベースシステムを導入し、公益財団法人富山県健康づくり財団富山県健康増進センター内にあるがん登録室で全国がん登録を行っています。

## 現状と課題

「富山県地域がん登録」の際は遡り調査を実施していなかったため、DCN=DCOとなっており、登録精度も高くはありませんでしたが、全国がん登録制度が始まり、登録精度は全国中位の水準となっています。

個人情報流出防止の観点から、届出手段は、安全の確保された国立がん研究センターのがん登録オンラインシステムとしていますが、オンラインシステムに未接続の病院及び指定診療所があることが課題となっています。全ての対象施設においてオンライン届出可能な体制の整備を目指し、未接続の施設に対しての個別説明や接続作業のサポートに取り組んでまいりたいと考えています。

また、全国がん登録の精度向上のため、病院等の届出実務担当者を対象とした研修会を開催しています。引き続き、制度の周知・啓発及びがん登録に役立つ情報の発信によって精度向上に努めてまいります。

## 最後に

今後も引き続き、全国がん登録事業の円滑な運用に努めてまいりますので、国立がん研究センターの皆様をはじめ、全国のがん登録事業関係者の皆様には、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



元気とやまマスコット  
きときと君  
©富山県